

飯 豊 山 山 行 報 告

y h c 笠 原 正 雄

目的地	飯豊山（小白布沢林道～飯豊本山ピストン）	期 日	平成 11 年 10 月 10～11 日（前夜現地入り）
山行人	笠原正雄・笠原澄子	天 候	2 日間とも晴れ

地 点 名	(発)～(着)	天候	記 事
9 日			坂下 I C で山都・川入方面の道を聞き、地図を貰う。 I C をおり、すぐのコンビニで夜食の買出し。 小白布沢林道は工事中通行禁止の看板がある。地図でこの道であることを確認した。すぐそばの廃校の屋外広場に陣取り車中泊。星がきれい。
与 板	PM 8:00 発		
会津坂下 I C	9:45～10:00		
川入民宿入口	11:00 着	星空	
10 日			林道(3.5km)は出だし狭い山道だが工事進行中で立派な道が完成間近。 登山口 P は上下 2ヶ所(計 30 台位)、前日入り等もありほぼ満車に近い。 下の P に止め朝飯をとる。新津からの親子 3 人のが入って来た。 P から 200m で登山口。届け記入。小さな沢を 3～4 本渡り登りとなる。 キジ休み。階段状の急登。新津親子に追い越される。支尾根 水場は下がる矢印。この後鳳凰山の斉藤氏から TEL。 急登の連続の中に休むに丁度良い小広場。手前に立派なツキヨタケ ここまでの道は作業道、ここから登山道と標識。急登から開放される。 右は地藏山(地藏小屋小屋跡)。左のトラバース道を行く。 登山道のすぐ脇に排水パイプから豊富に出ている。ごちそうになる。 取付きに来る途中、先方に三国小屋と本山に向かう稜線が見える。 岩場を掻きあがる。特に右左は切れ落ちている。難所には鎖がある。 錆赤でさほど広くない。半袖歩行も日陰は寒く感じる。 三国小屋から下って登り返し。いよいよ紅葉が楽しくなってきた。 標識があつたが印象が残っていない。 登山道右 10m にホースから勢い良く出ている。夏は小屋までの水源。 結構立派な小屋、但し TV で見たほど綺麗ではない。時間が早いせいかまだ空いていたが、数人分のシュラフが陣取っていた。ここから空荷で頂上ピストンを検討したが、戻りの時間が遅くなることと本山小屋に泊まりたいことから先へ進むこととした。小屋前のベンチで昼食。 新津親子はピストンを決め、出発した。本山小屋の場所取りを依頼する。 小ピークの広場。本山の左に御西・大日岳。この後姥権現通過 (2:10) 難所はわずか。ただし右手は絶壁。見渡す紅葉と陽射しの陰影が見事。 地元の集中登山の一人と剣ヶ峰あたりからカメラ談義をしながら登る。 一ノ王子付近はキャンプサイト。100m 右に下り水場あり。汲む。 小屋は昨年の台風でこわれ、しばらく使用不可だったが、8 日から使えるようになった。ほぼ満員に近かったが、先行した新津親子が、集中登山の団体に頼んでおいてくれて二人分が確保されていた。有難い。所がそばの 5 人のグループが「夫婦連れなら」と 1 畳分のドア付きの更衣室に入ったらと進言してくれたので、そこに陣取った。小屋前に出てビール。日陰に居ると風寒い。磐梯山や吾妻連山・朝日連峰。 4:20 に出発して 15 分程で頂上。風強くますます寒い。三人いた、主稜線も良く見える。写真を撮り早々に退散。小屋に戻り、狭いなか膝をまげ飯とした。7 時寝る。密閉されていて暑いほどだった。周囲の音が遮られてよかったが、ドア出口に寝ている人がいて出入りをはばかり、小便我慢の夜だった。
起 床	5:20	晴	
小白沢駐車場	6:45 発		
(休み)	7:25:～7:30		
秀好清水標識	7:45		
(休み)	8:25～8:35		
横峰小屋跡分岐	8:45		
地藏水場道分岐	9:03		
峰 清 水	9:12		
剣ヶ峰取付き	9:40		
剣ヶ峰ピーク	10:05～10:10		
三 国 小 屋	10:35～10:50		
(休み)	11:30～11:37		
種 蒔 山	12:08		
(水場)	切合小屋手前		
切 合 小 屋	12:30～1:10		
草 履 塚	1:45～1:55		
御秘所の岩場	2:15		
一ノ王子			
本 山 小 屋	3:30 着		
就 寝	7:00		

地名	(発)～(着)	天候	記 事
11日			
起床	AM 4:00		3時過ぎから小屋の中に動きがでる。4時過ぎ外に出ると、ヘッドランプを点けて御西方面へ向かう人がいた。昨日の夕刻より暖かい。
日の出	5:35	晴	徐々に雲が燃えるように赤くなっていく様子は写真の比では無い。日の出後、空きの出た広間に移動してゆっくり朝食。
本山小屋発	6:40		雲の向こうに越後三山、そして後立山・槍穂高もみえた。大日岳の沢筋が陽が昇るにつれてくっきりしてきて山容も更に立派。
切合小屋	8:13～8:30		帰りも水場で水を汲む。
三国小屋	9:50～10:35		昼飯。残りのウイスキーを紅茶で飲む。なかなかいける。
剣ヶ峰	10:56		下りの方が恐怖感がある。
地藏山水場道分岐	11:30		同じトラバース道に行く。
峰清水	10:40		2パーテーが休憩していた。
横峰小屋跡分岐	12:05		直進すれば御沢小屋方面登山道。左折して小白布作業道へ。
(休み)	12:15～12:25		
小白沢駐車場	1:21着		林道を下りその取付きを右折し、民宿街どんづまりの飯豊鉱泉入浴。女房と家族向けの風呂に案内され混浴。窓を開け放し溪流を見ながらジョンノビ。
飯豊鉱泉入浴			あがってビール1本。2人住人の他に知人らしき人物が計3人居ただけ。山の話をしながらか、しばし休む。
	3:00発		
会津坂下IC	4:00		連休の行楽帰りで磐越道が混んだ。阿賀野PAでトイレタイム。
与板	6:00着		全走行距離 355 km。

食事の記録 10日 <朝>おかゆ・サンドイッチ・梨
<昼>山菜赤飯・味噌汁・みそ漬
<夜>α白飯・おでん・ボンカレー・ヤキトリ缶詰・蒲鉾・ビール・ウイスキー・鮭燻製つまみ
11日 <朝>おかゆ・もち・蒲鉾・鮭缶・ポタージュスープ・コーヒー・みそ漬
<昼>チーズパン・クロワッサン・もち・紅茶・はちみつ・ウイスキー
主な行動食 羊かん・リンゴジュース・みかん・チョコレート・あんぱん

槇原登山で候補に上がった際に地図を買った。行程が長く、まして無人小屋ということで、没になった。その経緯から体験を経ていつか入山してみたいと思っていた。妻のシュラフを購入し、金城山で荷重練習をしこれに備えた。好天に恵まれ、大半を半袖歩行であった。紅葉も稜線にでると見事だった。更に目に入る山容はすばらしい。また、新津親子や集中登山のメンバー等のお蔭で満員の本山小屋でも場所が確保されて、有難かった。小白沢林道は新しく橋がかけられたりして工事が進められていて、こちらがメインルートになると思われる。出発前日、川上さんから熊が出そうな所との情報をもらったので、二人きりになった時はラジオの音量をあげて歩いた。早くからマークしていた山に行くことが出来て、充実感溢れる思いであった。またいつか、今度は北股岳への主稜線を行ってみたい。